

建学の精神に基づき 真に強く優しい女性を育てる ラーニング・コモンズのある大学へ

このたび、大学の学長に新しく奥村隆平氏が就任されました。「建学の精神に基づき、社会でリーダーシップが取れる、強く優しい女性を育てたい」とおっしゃる奥村学長の抱負、またKMP21やご自身のキャンパス作りへの思いについて、お話を伺いました。

建学の精神を堅持し さらなる充実へ

私はこれまでずっと名古屋大学で教授として勤めていましたので、金城学院大学から学長就任の要請をいただいたときは大変驚きました。しかし私自身クリスチャンですので、キリスト教主義の大学に招かれたことに、違和感はありませんでした。

とにかく新米ですので、急に独自の指針を出すというわけにはいかなのですが、これまでの大学の歩みを継承してこれを発展させていくことが私の務めであると思っています。金城学院大学には「福音主義キリスト教に基づく女子教育」「全人的な一貫教育」「国際理解の教育」という建学の精神があります。これらを堅持するというのは学長としての大事な使命だと思います。



金城学院は2009年に学院創立120周年、大学設立60周年という節目を迎え、それに伴い中期計画を立てました。2014年までの計画で、今年ちょうどその中間点にあたります。この中で建学の精神をもとに、重点的に発展させていきたいと思っています。

1つ目の「福音主義キリスト教に基づく女子教育」では校内礼拝のさらなる励行を考えています。金城学院大学は学生教職員が毎朝8時45分から礼拝をしております。これは全国的に見ても大変珍しく、すばらしいことですので、ぜひ定着させていきたいと思っています。私もこの礼拝に毎日参加し、月に1回奨励を行います。これまで2回行いましたが、私の話を静粛に聞いてくれる学生たちに大変好感を持っています。

礼拝はエラ・ヒューストンホールでの礼拝堂で行うのですが、特に伝道週間の時は礼拝堂ばかりではなく控え室までが満員になり、学生や教職員の皆さんがとても熱心であることが伺えます。次のステップとして、この礼拝が学内のみに終わらず、近隣の教会に足を運ぶということにまで発展させていければと考えています。

2つ目の「全人的な一貫教育」ですが、金城学院は中・高・大の一貫教育

を行っています。その中で「金城らしい教育」を行いたいという目的で、大学では金城アイデンティティ科目を設置しています。この科目群には、「キリスト教」「女性」「国際理解」の3つをテーマにした科目があるのですが、すべて建学の精神に基づいて作られたものです。この金城アイデンティティ科目についてもさらに定着させていきたいと思っています。

もうひとつ、アクティブ・ラーニング科目があります。これは学生たちが自らプロジェクトを立ち上げ、いろいろな方法で行いつつ学ぶという科目です。しかしこれも比較的まだ萌芽の段階ですので、これからもっと発展させていければと思います。

3つ目の「国際理解」についてですが、この大学はアメリカ人宣教師ミセス・ランドルフによって設立され、当初は英語の単科から始まっていることから今でも英語英米文化学科など英語の学びの場が多くあります。英語ができることは国際理解が強まるということにつながり、それは大変すばらしいことだと思います。しかし海外の学者との共同研究が少なく、研究面では国際化がやや立ち遅れているように感じます。また留学生との交流もその数自体はまだそれほど多くはありません。



Profile

奥村隆平 学長

専門分野／国際経済学 経済学博士
研究課題／国際経済におけるマクロ経済の理論と政策
所属学会／日本国際経済学会常任理事、日本経済学会理事、
日本キリスト教団名古屋教会長老

大学は今年、名鉄瀬戸線の大森・金城学院前駅のそばに「金城学院大学留学生会館」を設立し、外国人留学生を受け入れています。現在18名ほどが入館していますが、もっと多くの留学生を受け入れていきたいと思っています。

また現在、海外約9ヶ国21校の大学と協定を結んでいます。こうした協定校と積極的に交流して国際化を進めていきたいと考えています。こうした海外協定校を増やすことも私の大切な仕事だと認識しています。

ITやラーニング・コモンズ整備で 社会で活躍する女性を育成

さらに今後はIT環境の整備強化を重視していきたいとも考えています。

例えばキャンパス全体にWi-Fiが導入されていれば、学生はいつでもどこでもインターネットに接続できます。しかしまだキャンパスの一部しか整備されていないのが現状です。今後できればキャンパス全体にWi-Fiを導入していきたいと思います。例えば森の中でもパソコン一つ持って行けばいろんなことができる環境になればそれは学生にとって大変素晴らしいことです。さらにこのIT環境の整備によって履修登録を学外からもできるようにしたいとも考えています。同時に、情報漏洩や学生識別など、解決しなくてはならない問題点がいくつかあります。こうした問題点については学外からも情報を集め、その上で安全で使いやすいシステムを構築していきたいと思っています。

金城学院はこれからKMP21に基づきキャンパスを大改革する予定です。そのプランの中にこうしたIT環境の整備も入れていければと考えています。

世の中は今後、少子高齢化でますます労働力が不足し、今以上に女性の社会進出が期待されるようになります。リーダーシップが取れる女性がさらに必要とされる時代となるのです。このような女性を育てるため、大学としては例えばアクティブ・ラーニング科目のように自分たちでプロジェクトを組んで企画し、多彩なメディアを使ってプレゼンを行える、そんな学習環境としてラーニング・コモンズを提供していきたいと考えています。

これからは男性と同じくらい若い女性が活躍する時代です。大学でのこうした多様な学びは、実社会に出ても必ず役に立つと思います。大学のスローガン「強く、優しく」をあらためて共通理解として確認しつつ、リーダーシップが取れる強く優しい女性を育てていきたいと考えています。